

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
 太平老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H30年度	R1年度					
いきがいきづくり、教養講座運営事業		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	水彩画教室	13	22	第2・4月曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			24	340	19	265	定員13名に対し、新規2名を含む16名が参加。年間を通じて見学や問い合わせが多い。参加者が自ら教室の準備や片付けに協力いただけるように声掛けをした。また多悠連との合同作品展が教室のPRの場となるよう努めた。 令和2年度は新規利用者が優先となっていることで、状況に応じて継続希望者にはサークルに移行していただく予定。
	1	健康麻雀教室	88	70	毎週火曜日 第2・4金曜日				73	2,403	64	1,988	認知症予防にも効果があるため関心が高く、年間を通じて見学や問い合わせが一番多い。希望者が多いため、教室を1クラス増やし、より多くの参加ができるよう工夫し、新規17名を含む73名が参加された。わかりやすいルールの資料配布や、毎回くじを引いて対局相手を変え交流の機会も増やした。また午後からの参加も出来るように工夫したりと、できる限りのニーズには対応した。 また、他の教室や、季節行事、単発事業にも参加してもらえるよう声掛けをした。
	1	絵手紙教室	20	20	第2・4火曜日				23	227	20	223	新規1名を含む12名でスタートし、後日追加で1名が受講される。新規の方には当番のやり方や講師に近い席などの配慮をした。準備、片付けなど当番制で、出来上がった作品を参加者同士で評価し合ったり、講師からのアドバイスを受け、和気あいあいと実施できた。 令和2年度は「いこい」に追加募集したり、多悠連との合同作品展などの場で教室のPRしていく。
	1	習字教室	15	24	第1・3水曜日				24	338	22	304	新規5名を含む15名の参加。講師の丁寧な個別指導が人気で、問い合わせが多い教室。定員を超えたので、新規の利用者を優先するため、継続希望者には現在活動されているサークルを紹介した。
	1	ペン習字	15	24	第1・3水曜日				24	217	22	167	新規2名を含む9名の参加。「いこい」にて追加募集を行ったり、習字教室の問い合わせが多いので、この教室を勧めた。 令和2年度も引き続き、新規受講生を呼び掛けると共に、作品展などで、教室のPRをした。
	1	中級健康麻雀	20	24	第1・3水曜日				24	362	22	379	初心者健康麻雀教室からレベルアップで3名の申し込み者を含む20名が参加。講師と相談し、最初は復習から始め、資料を配布したり、なるべく利用者同士も教え合えるような席に配慮した。 令和2度も引き続き公募はせず、初心者健康麻雀教室から受け皿のレベルアップ教室として実施し、更に受講者同士の交流を深めていけるよう呼びかけた。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度						
いきがいきづくり、教養講座運営事業	1	編物教室	14	24	第2・4水曜日			24	252	22	179	新規1名を含む12名の参加。本人や家族の体調不良のため退会されるが方3名みえた。講師による個別指導と、皆で出来栄を評価し合いながら、教え合ったりする和やかな雰囲気を受講された。 令和2年度も引き続き、多悠連との合同作品展では教室のPRを行い、「いいい」に追加募集を掲載し、新規受講者の参加を呼び掛けた。	
	1	写真教室	20	12	第3水曜日			12	222	8	123	新規1名を含む19名の参加。講師が高齢で体調不良により3回休講し返金した。男性参加者が多いため、他の男性参加のみの体操教室や、単発事業紹介し、参加拡大に繋がった。 長年教室として運営してきたが、参加者の固定化があり、令和2年度からはリーダー的存在の方を中心にサークルに移行した。引き続き作品展をPRの場としていく。	
	1	初めての麻雀教室	8	24	第2・4木曜日			24	443	22	304	認知症予防の効果もあることから定員の8名を大幅に上回る新規12名を含む18名の参加。年度途中からの受講希望者もあるが、定員越えのため断っているほど、人気が高い。参加者で準備から片付けまでを行っていただくよう、声掛けをした。 令和2年度は中級健康麻雀教室へレベルアップできるよう、呼びかける。	
	1	男の料理教室	20	12	第2木曜日	仲間と楽しく料理作りを行うことによって、料理と栄養に関する知識の向上を目指す。			12	168	11	182	新規2名を含む17名の参加。追加で1名受講された。準備片付けを担当制にし、受講生同士交流を深められた。 令和2年度も引き続き料理の実習だけでなく、職員による指先ストレッチ、講師による栄養の話等の資料提供し、また、他の単発事業や、男性の教室への参加を促した。
	1	青空小物作り教室			第1・3金曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供			24	285			長年教室として運営してきたが、参加者の固定化もあり、リーダー的存在の方を中心にサークルに移行していただいた。
	1	詩吟教室			第1・3金曜日				24	227			長年教室として運営してきたが、参加者の固定化もあり、リーダー的存在の方を中心にサークルへ移行していただいた。
	1	民謡教室			第1・3金曜日				24	241			長年教室として運営してきたが、参加者の固定化もあり、リーダー的存在の方を中心にサークルへ移行していただいた。
	1	唱歌教室	100	24	第2・4金曜日			24	1,692	22	1,424	新規3名を含む94名の参加。本人や家族の体調不良で退会された方がみえるが、講師による作曲者のエピソードや、曲にまつわる時代背景などの話を聞き大変人気の教室である。 毎回講師の選曲した歌詞カードの資料を作成し、見やすいように工夫した。新規登録者には、参加しやすい教室のため、見学を勧め、受講に繋げている。参加人数が多く駐車場が混雑するため、近隣の施設に協力いただいていた確保した。 介護予防や口腔フレイル予防などに意識して実施した。	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度						
いきがいつくり、 教養講座運営事業	1	おじんの唱歌教室	30	24	第2・4金曜日			24	490	22	466	24名の参加。途中から追加で1名受講された。男性のみの教室で、気兼ねなく楽しく参加されている。敬老会では女性の唱歌教室と合同で行い、発表の場を設けるとともに交流を深めている。教室のメンバーで市民文化祭にも出演する等、活動の場が広がっている。 介護予防や口腔フレイル予防などを意識して実施した。 令和2年度も引き続き、他の男性教室への参加をPRす	
	1	パソコン教室 (初級コース)	10	42	毎週月曜日	いきがいつくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。			43	432	37	474	6ヶ月のコースを前・後期2回実施。前期は新規5名を含む定員を超える15名の参加。後期は新規5名を含む定員を超える14名の参加。初心者教室からレベルアップしたい人たちに、サークルを紹介した。 令和2年度も引き続き、きっかけはパソコン教室で老人センターを知った方が多いため、単発事業、季節行事、他の教室等をPRし、参加に繋げる。
	小計			346				427	8,339	313	6,478		
	教室		定員	回数	実施日	ねらい		実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
	1	水彩画さくら	/	24	第1・3月曜日	個々の趣味や教養の向上を目的とするとともに、サークル活動が、楽しく充実した生活が送れるようサポートする。		24	180	18	94	作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。令和元年度でサークル活動を終了した。	
	1	習字スマレ会	/	24	第1・3火曜日			22	189	20	161	作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。令和元年度でサークル活動を終了した。	
	1	ひまわりの会	/	24	第1・3火曜日			21	199	19	145	作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。令和元年度でサークル活動を終了した。	
	1	さざんか句会	/	12	第2火曜日			11	97	11	100	月に1回、和気あいあいと楽しく活動されている。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載する。	
	1	水彩画水曜会	/	24	第1・3水曜日			24	163	22	149	教室が定員オーバー時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備、片付け等協力をお願いし、参加を促した。	
	1	習字サークルこぶし	/	24	第2水曜日 第4金曜日			23	145	22	122	教室が定員オーバーになった時にサークルの活動紹介、PRに努めている。作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。「いこい」等でサークルの紹介掲載し、	
	1	パソコン講座すみれの会	/	47	毎週金曜日			46	601	46	477	初心者教室を経た方にサークルを紹介し参加を促した。「いこい」等でサークルの紹介を掲載し呼びかけた。	
	1	青空小物作り教室	/	24	第1・3金曜日			/	/	22	238	令和元年度に教室からサークル活動へ移行した。作品展では準備片付け等の協力をお願いし、参加を促した。「いこい」等でサークルの紹介掲載し、呼びかけた。	
	1	詩吟教室	/	24	第1・3金曜日			/	/	22	202	令和元年度に教室からサークル活動へ移行した。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載する。	
	1	民謡教室	/	24	第1・3金曜日			/	/	23	177	令和元年度に教室からサークル活動へ移行した。サークルのメンバーで市民文化祭に出演するなど活動の場を広げている。令和元年度でサークル活動を終了された。	
	1	土曜表装	/	24	毎週土曜日			18	79	15	62	「いこい」にサークルの活動紹介を記載したり、作品展にてPRした。会員は少数だが、今後も活動されることで、交流の場となっているため継続する。	
1	七宝焼	/	24	第1・3日曜日			16	48	/	/	平成30年度をもって終了。		
小計			299					205	1,701	240	1,927		
計		—	645				12	13	632	10,040	553	8,405	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H30年度	R1年度					
自立生活維持支援事業		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	フラダンス教室	20	24	第2・4月曜日	各種運動を通じて、健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。			24	325	21	334	新規1名を含む18名の参加。追加で3名受講された。本人や家族の体調不良により退会される方あり。年二回の発表の場を作り、目標をもって練習をされていた。また、発表の場が教室のPRになり、新規受講者の参加に繋がった。 令和2年度も「いこい」等で掲載し呼びかける。
	1	卓球クラブ	15	21	第1・2月曜日				22	315	18	266	新規7名を含む22名の参加。ボランティアが中心となって、当番制で準備や片付けをやっていただくよう声掛けする。 有酸素運動として実施。教室の最初にはラジオ体操を皆でやり、グループ分けをくじ引きで行い、毎回違う相手との交流を深めることが出来た。年間を通じて問い合わせが多く、人気が高いため、令和2年度は卓球台を増やし、週に1回できるように曜日変更するとともに、卓球台の移動方法も工夫した。
	1	バランスボールで 目指せマリリン Monroe 教室	20	24	第1・3水曜日				24	342	21	381	新規7名を含む20名の参加。追加で6名が受講された。アンケート調査で午前開催を希望される方が多くあり、変更したところ受講者数が増えた。 体幹を鍛えることで介護予防につながっている。 エアコンプレッサーを使ってボールの空気を入れる作業など、ボランティアに準備、片付け等の協力を得ている。
1	俺がやる俺のための バランスボール教室	20	24	第1・3水曜日				24	245	21	305	新規5名を含む17名の参加。体調不良により1名退会されるも、追加で1名受講される。「いこい」での追加募集や、男性のヨガ教室の新規受講生に週1回運動が出来るようにバランスボール教室の見学を勧め、受講生の増加に繋がった。 体幹を鍛えることで介護予防につながっている。 令和2年度は広報誌「ふれあい」や「いこい」への掲載や、引き続き、老人センターの新規登録者に声を掛けて参加を促す。	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度						
自立生活維持支援事業	1	座ってガッツリ体操教室	25	24	第2・4水曜日					22	467	平成30年度に実施したアンケートの要望により、独自事業で行い、4月から新規教室として始める。定員25名のところ28名の参加。 介護予防の要素が非常に高く、健康維持のために体を動かしたいけど、あまり激しい運動は無理だという方を対象に、講師のわかりやすい指導でイスに座ってゆっくり楽しく和気あいあいとした雰囲気作りを重視して行った。 令和2年度は新規登録者に声をかけて参加を促す。	
	1	ヨガ教室	40	24	第2・4水曜日			24	754	21	667	定員40名に対し、新規8名を含む46名の参加。途中家族の事情や、体調不良による退会9名、追加2名受講される。3ヶ月ごとに貸し出ししているマットの清掃をお願いしたり、人数が多い分マットの配置に配慮した。 令和2年度も申込み期間中に体験をしてそのまま参加できるようにする。	
	1	男のヨガ教室	20	24	第2・4水曜日			24	346	21	392	新規7名を含む23名の参加。追加で2名受講される。広報誌「ふれあい」「いこい」での掲載の他、男性中心の教室でPRし、見学を呼び掛けた。 令和2年度も引き続き、申込み期間中に体験をしてそのまま参加できるようにする。	
	1	軽運動教室	30	24	第1・3木曜日			24	563	22	453	新規2名を含む26名の参加。本人や家族の体調不良で5名退会されるも、追加で1名受講される。新規の受講生には講師の体の動きが見やすい場所に配置したり、準備や片付けを当番制にし、和やかな雰囲気づくりに配慮した。 令和2年度は館内チラシにて見学や体験を呼びかけるとともに、老人センターまつりや他の発表にて教室のPRをしていき、参加に繋げていきたい。	
	1	健康アップ体操教室	60	45	毎週金曜日			44	2,012	42	1,791	新規5名を含む59名の参加。本人や家族の体調不良、免許返納などの事情で最終的に10名退会されたが、追加で2名が受講された。準備、片付けを当番制にし、自主性を高め、受講生同士の交流が深まった。 健康維持と体力の増進を目的に週1回1時間30分のストレッチ、筋トレ、有酸素運動等、しっかり体を動かす教室で充実した時間を過ごされている。また、講師が一人一人必ず声掛けをし、熱心に指導されるのでとても人気が高い。	
			計	—	234			11	13	210	4,902	209	5,056

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成30年度の 実施状況		令和元年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価
							H30 年度	R1 年度					
多世代交流事業		各種イベント	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	雑巾作り		1	4月4日	複合施設の利点を活かし、子ども、高齢者、障がい者等、誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。			1	16	1	17	利用者にあらかじめ日程を使え、眼鏡や指めき、使い勝手のいいハサミなど個々で持参していただくよう声掛けを行った。低学年の子供には糸通しや、玉止めを教えたり、出来上がった雑巾を見せ合ったりして、交流を深めた。新年度になったことで、学校の先生や勉強の話題など、子供達からたくさん話を聞けて、喜ばれた。 令和2年度も引き続き積極的に声掛けをし、参加者の拡大を図る。
	1	七夕		1	7月4日				1	260	1	329	ペーパークラフトの提灯や、織姫、彦星の表情豊かな、かわいらしい七夕飾りを作成した。短冊には自分や家族の健康を願うものや、子供らしい将来の夢など、来館者に書いていただき、七夕飾りを楽しんでいた。冷たい「葛饅頭」「水ようかん」の販売をし、季節行事を楽しんだ。 令和2年度も引き続き「いこい」の掲載や館内チラシ、各教室に、参加を呼び掛ける。
	1	でこぼこ夏祭り		3	7月29日 7月31日 8月2日				3	247	3	183	事前打ち合わせで担当を決め、それぞれ計画、準備をしたこと、参加者が少なかったこともあり、予定通り進行することが出来た。また中学生ボランティアの受付やゲームの補助、準備片付け等協力していただいた。夏祭りに向けて、ボランティア講師による「うながっぱ音頭」や「炭坑節」などの踊りの指導を受けた。「いこい」の掲載や館内チラシ、当日でも参加できるように、声掛けを行い参加を促した。またスペシャルゲストとしてうながっぱと一緒に「うながっぱ音頭」を踊り、子供達はとても喜んだ。 令和2年度も引き続き、広報誌「ふれあい」に掲載し、参加を呼び掛ける。
	1	母子・父子福祉センター交流会		2	8月8日 22日				2	35	2	45	「魚釣りゲーム」「坊主めくり」「パパ抜き」の3つのブースにわかれ、老人福祉センターの利用者と、わくわくキッズ利用の小学生との交流会を企画した。どのブースからも歓声が聞こえ楽しく時間を過ごせた。雑巾作りでは、低学年の子に老人センターの利用者が縫い方のコツや、縫い目が揃っていて褒めたりする姿がみられ、交流を深められた。 令和2年度も館内チラシ等で案内し、参加者の拡大を図る。
1	でこぼこ大運動会		1	10月3日				1	34	1	42	紅白のチームにわけけるのではなく、テーマを「絆を深める」にし、皆で1回目より2回目と記録にこだわり、達成感を共有できた。老人センター利用者と、障がい者センター利用者、児童センター乳幼児親子及びデイサービスセンター利用者とで「玉渡し」「大送り」「ハイタッチお菓子取り」など声掛けや触れ合いがあり、とても良い交流の場となった。 令和2度も「いこい」への掲載、各教室への呼びかけし、参加者の拡大を図る。	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H30年度	R1年度					
多世代交流事業	1	中学3年生との交流会					1	107			令和元年度は実施せず。 機会があれば、地域の方や、近隣施設等との交流が深まるため、関連機関との連携、企画をしていく。
	1	花餅作り		1	12月19日			1	20	1	36 太平児童センターの親子と老人福祉センターの利用者で梅の枝に手先で丸めた赤・白・緑のお餅を等間隔につけ、季節行事を通して和やかな雰囲気での交流ができた。ボランティア3名の協力により、準備、見本作りを行った。 令和2年度も引き続きボランティアに協力をお願いしたり、広報誌「ふれあい」「いこい」への掲載や、館内チラシによる案内募集など参加を呼びかける。
	1	新春お茶会		1	1月7日			1	222	1	256 重いすや、小さな子供がゆったり座れるようにテーブルの配置や、正月の雰囲気を演出した会場作りを工夫した。お茶サークルの方の協力で抹茶を振る舞い、ボランティアの協力で琴の演奏を聴き、お正月らしいひと時を過ごしていただいた。冬休み期間のため、小学生の子供たちや、親子の参加が多く、昔遊びのコーナーや、絵馬に願い事を書いてもらったり楽しんでいただいた。令和2年度も中高生スペースで行えるよう企画していく。
	1	卓球大会		1	3月30日			1	21	0	0 新型コロナウイルス感染拡大防止策として老人福祉センターの閉館により中止となる。 卓球は大変人気で、児童センターの子供たちと、老人福祉センターの利用者との交流の場となっているため、ニーズに応じて企画していく。
			計	—	11			13	962	10	908

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H30年度	R1年度					
地域交流事業			定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	わいわい教室		31	木曜日	誰もが参加できるような事業を開催し、利用者間交流を図る。季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防する。			28	293	28	251	パワリハの機械が和室に設置されたことにより、場所を作業室に変更して開催する。一回の利用人数が減ってしまったが、当日参加も可能とし、 <u>音楽室利用者に声掛けをしたり、事前に見本を作って飾ることでわいわい教室のPRを行う。</u> 老人センターの新規登録者には見学を勧め、参加を促した。楽しく時間を過ごせるよう、ゲームや季節の歌を歌ったり、健康の話や、日常生活で気をつける事などの資料を参考に皆で話し合ったりして工夫した。 令和2年度は「いこい」に紹介記事を掲載したり、館内チラシで紹介し新規利用者の拡大を図る。
	1	消費者トラブル対策講座							1	25			令和元年度は実施せず
	1	敬老週間		1	9月9日～14日				1	568	1	367	パワリハの機械が和室に設置されたことにより、会場を4階の大会議室に変更したことで、参加者の減少となったが、「いこい」への掲載や、各教室、音楽室や、ヘルストロン利用者にも当日呼びかけを行った。また、障がい者センター利用者や、近隣の福祉施設にも案内をし参加を呼び掛けた。 老人福祉センターのフラダンス教室と唱歌教室、おじんの唱歌教室の方にも出演していただき、ボランティアによるマジックショー、よさこい踊りやオカリナ演奏など日替わりの内容で太平デイスサービス利用者や、老人センター利用者が一緒に参加され、楽しんでいただけた。 令和2年度も引き続き、「いこい」や広報誌「ふれあい」によるPR、館内にチラシで呼びかけたり、近隣の施設に案内をし、地域の皆様も気軽に楽しく参加できる交流の場をつくる。
1	健康麻雀大会		2	10月1日 2月25日				1	41	2	78	ボランティアが中心となり、準備や片付けを自主的に行い、協力いただけるよう呼びかけた。くじ引きで公平に席決めを行い、点数表も、各テーブルごとに確認しながら行った。 2月の大会は閉館対応の前に開催できたが、 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止策として「手洗い」「手指消毒」「換気」を呼びかけを行った。</u>	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H30年度	R1年度					
地域交流事業	1	合同二吟発表会	1	10月31日			1	23	1	20	詩吟サークルの日頃の練習の成果を発表することで、地域の皆様や各教室受講生にも聞いていただけるよう呼び掛けた。館内チラシを作成したり、当日歌詞カードを配布し、新規でサークルに入会していただくきっかけづくりの場となった。
	1	ふれあい作品展	1	11月6日～13日			1	1,825	1	1,716	市内の福祉施設や福祉団体等に出展を呼びかけ、27団体(内1団体は新規)の申し込みがあった。広報誌「ふれあい」に募集や報告を掲載し、市内多くの人に周知するよう努めた。会場の準備や片付けの作業のほか、展示期間中の受付当番は事前の説明会にて周知し、出展者にもご協力いただいた。開催期間中は駐車場が混雑するため、近隣の施設に協力いただいで確保した。作品づくりの準備がしやすいよう、令和2年度も出展の募集に先駆けて開催期日を周知する。
	1	楽友会コンサート	1	12月27日			1	128	1	109	館内チラシや、各教室利用者に案内を呼び掛けたり、当日でも聴いていただけるよう声掛けをした。ボランティアによるピアノやバイオリンと合唱で、季節の歌や、各国の曲をテーマに、披露いただいた。会場全体に歌声やバイオリンの音色が響き、素敵なコンサートとなった。令和2年度も障がい者センター、近隣施設に案内し、参加を呼び掛ける。
	1	老人センターまつり	1	3月3日～6日			1	486	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止策により、老人福祉センターが閉館となり中止の決定をした。事前に館内チラシや、「いこい」に掲載したため、ホームページや電話での対応をした。当初、人を集めるイベントは中止とし、せめて1年間の成果として、無観客の発表のみの規模を縮小した形で行う準備はしていたが、講師や、出演者、また囲碁将棋大会に申し込まれた方約180名に中止の電話連絡をした。
	1	多悠連合同作品展	1	2月26日～28日			1	649	1	629	多治見市悠光クラブ連合会の会員による手作り作品と、老人福祉センターで開催している教室(水彩画、絵手紙、習字、ペン習字、編物、写真)で制作した作品のほか、自主的に活動しているサークルからも、水彩画、絵手紙、習字、表装などを展示された。会場準備や片付けに大勢が集中するため、作業を担当にし、搬入、搬出の時間帯を分けたことにより、駐車場や、エレベーターの混雑を避ける事ができた。会場の設置、撤去、開催期間の受付当番等、出品者にボランティアとして協力を得た。「いこい」に案内を掲載するほか、チラシや事前からの会場入り口への看板設置等により、利用者に周知するよう努めた。令和2年度も引き続き多悠連との事前打ち合わせを行い、準備の手順や役割について情報を共有する。
		計	39	—	12	12	36	4,038	35	3,170	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の 実施状況		令和元年度の 実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、 課題分析、自己評価		
						H30 年度	R1 年度							
個人利用		各種	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	広報誌「ふれあい」にビリヤードの紹介を掲載したことにより、利用数が増え、健康作り仲間作りの場となっている。一方で心身の衰えにより利用されなくなったり、天候により利用者数が減る傾向にある。運動器具、囲碁・将棋の利用の方は実際利用してはいるものの、受付簿に記入されていない現状で、声掛けや掲示等での受付簿の記入漏れを呼び掛け、実際の利用者数に近づけられるよう改善を図る。不特定多数の方が利用されるため、ヘルストロンのカバー、座布団を定期的に洗濯した。新型コロナウイルス感染拡大防止策の為、老人福祉センターが3月閉館になったため、入り口に掲示し周知してもらう。また、1階で掲示を見ても、確認のために3階の事務所まで来た方や、電話での問い合わせに対応する。	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1
		計	—	—			10	10	—	38,655	—	34,420		
老人クラブの支援		各種	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	多悠連の事業に参加・協力し連携を図った。事業の実施にあたり、必要に応じて指導・支援を行った。カラオケ教室は、多悠連の事情により、平成30年9月まで終了した。社協が地域福祉事業を推進していく中で、関係団体の1つとして連携を強化している。令和2年度も引き続き、多悠連事務局の不在時におけるカラオケの取り扱いなど、できる範囲で協力対応する。	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		計	—	4			10	10	18	782	9	600		
各種相談事業		各種相談事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	老人福祉センターはどのような利用ができるのか、教室や仲間作りなど出来る場はないかとの問い合わせが多かった。中でも本人より、家族が相談に来る方もあった。施設の案内と共に、気軽に参加できる教室や、季節行事や、単発事業などの紹介して利用につながるよう努めた。一人暮らしの不安や、介護に関する相談や申請などの相談は地域包括包括支援センターや関係部署とも連携を取りながら対応した。	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			計	—	—			11	11	—	33	—		42

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成30年度の実施状況		令和元年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H30年度	R1年度						
生業及び就労支援事業		相談事業	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	高齢者就業相談		12	第2金曜日	高齢者の生業及び就労等について指導を行う。			12	6	11	7	毎月1回、相談日を設け、シルバー人材センターの協力を得て相談事業を実施した。直接に職業の斡旋することではできないため、シルバー人材センターやハローワークの紹介に留まっている。広報に記載し、相談日の周知に努める。相談日には利用者によりわかりやすい様、エレベーター前に案内掲示することで、気軽に利用された。 ※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため中止
		計	—	12	—		10	10	12	6	11	7	
独自事業		その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	2	チャレンジ			随時	様々な企画を提供する中で、老人センターのPR及び教室の立ち上げに繋げていく。			13	201	7	146	利用者アンケートや、高齢者の関心が高い事など単発事業にて実施。「いこい」の掲載や、館内チラシ、また各教室へ呼びかけ募集を行った。初めて老人センターを利用される方や、年間通じては続けて参加できない方に案内し参加してもらうことで、老人センターのPRや仲間作りのきっかけになった。 ピンピン100歳を目指す体操教室は男性参加者にも人気で、気軽に夫婦でも参加できる教室として、令和2年度からは新規教室として実施する。 6月 園芸教室 10月 園芸教室・干支作り 11月 ピンピン100歳を目指す体操教室 12月 園芸教室・ピンピン100歳を目指す体操教室 2月 ピンピン100歳を目指す体操教室 (3月 ピンピン100歳を目指す体操教室) ※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	2	終活応援			随時	これまでの人生を見つめ、また、これからの人生をどのように生きていきたいか、思い描ききっかけになるような講座を企画し、老人福祉センターのPRと新規利用者の拡大を図る。			10	572	9	336	老後あんしん講座は「多治見ストーリー」の協力で、3つの老人センターで実施した。平均40名ほどの参加があり、地域の回覧板を見て初めて参加する方がみえ、関心が高い。老人センターのPRすることが出来た。講座の内容や要望に応えることが出来るよう、質問時間を設けたり、アンケートを実施した。 令和2年度は「多治見ストーリー」独自に作成したエンディングノートを活用して内容など参加者のニーズに応えた講座を実施する。 4月 お葬式は遺された人のため 6月 家族信託。どうする、家の始末 9月 失敗しない墓じまいと年金の使い方 10月 栄養講座・緩和ケア安心の三ヶ条 11月 量の上でこの願いを 12月 認知症から財産を守る 1月 介護付？住宅型？デイサービス？ 2月 生前整理遺すのは思いで (3月 その家、地震の時大丈夫？) ※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		計	—	—			13	13	23	773	16	482	